

# Governor's Monthly Letter

2021年8月号  
Vol.2

2021-2022年度

国際ロータリー第2640地区

## ガバナー月信

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

地区スローガン「広げようロータリーの光を！」



ガバナー 豊岡 敬

ガバナー事務局



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

〒640-8331  
和歌山市美園町3丁目34番地  
けやきONE 301号室  
TEL 073-426-2640  
FAX 073-426-2660  
E-mail toyooka@rid2640g.com

CONVENTION.ROTARY.ORG

ヒューストン(米国テキサス州) 2022年6月4～8日

Rotary   HOUSTON  
2022



## 世界を変える行動人

2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

より大きなインパクトをもたらす



参加者の基盤を広げる



参加者の積極的なかわりを促す



適応力を高める



## 目次

RI会長メッセージ .....	1
ガバナーメッセージ .....	2
会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて 地区会員増強・維持 女性活躍・推進委員長 山下 茂男 ...	3
【ガバナー公式訪問】	
7月26日～7月30日 .....	4～5
「多様性、公平さ、インクルージョンの声明」をRI理事会が検討 ..	6
メンタルヘルスの問題に立ち向かう .....	7～8
【地区活動報告】	
クラブ会長・幹事会議 .....	9
クラブ会員増強委員長会議 .....	10
米山記念奨学生 卓話研修 .....	11
【クラブ活動報告】	
創立60周年記念「南紀白浜人口写真集」白浜RC ...	12
ホルトノキ除幕式 和歌山東南RC .....	13
新会員の紹介/訃報 .....	14
ハイライトよねやま Vol.256 .....	15～16
コーディネーターニュース 8月号 .....	17
『ロータリー日本100年史』発売 .....	18
会員数報告(2021年6月) .....	19
My ROTARY登録状況 .....	20
8月の行事予定表 .....	21



# PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

 指定記事2021-22年度国際ロータリー  
会長 シェカール・メータ

## 親愛なるチェンジメーカーの皆さん

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間ですが、今年度は皆さんのご協力をもって歴史を刻む記録を樹立したいと考えています。20年以上にわたって、ロータリーの会員数は120万人のままです。ロータリーは116年の歴史を有し、220以上の国と地域に会員を擁して、ポリオ根絶などの人道的なプログラムでこれまで偉業を成してきた、活気に満ちた団体です。ロータリーは会員だけでなく会員以外の人々の人生を豊かにしてきました。人生を豊かにするために奉仕をする中で、より多くの人々が超我の奉仕をするようになれば、ロータリーは今まで以上の変化をもたらすことができる、と思いませんか。

私は2022年7月までにロータリーの会員数を130万人に増やすというビジョンを掲げています。「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」という実にシンプルな掛け声の下、今年度は、あらゆるロータリアンとローターアクターにそれぞれ一人誰か新しい人をクラブで紹介してもらいたいのです。

ロータリーは会員制の組織であり、会員はロータリー最大の資産です。ロータリー財団をこれほど支援してくださっているのは皆さんです。大きな夢を抱いて、素晴らしいプロジェクトによって世界によいことをもたらしているのは、皆さんです。それにももちろん、ポリオ根絶を目前まで迫ることができたのは皆さんの力です。

会員増強を今年度の優先事項とするに当たり、多様性に焦点を当て、若い世代、特に女性に働きかけましょう。どのクラブも新会員を迎え入れてください。そして、新会員を紹介する全てのロータリアンを、私が個人的にたたえたいと思います。25人以上の新会員を獲得できた人は、新設されたメンバーシップ・ソサエティの会員となります。

ロータリーの贈り物を他の人々と分かち合うときには、新会員にも働き掛けるのを忘れなく。一度ロータリーに

かかわったロータリアンは、永遠の財産になるからです。そして、会員維持も新会員の増強と同じくらい重要なことを忘れてはなりません。また、新クラブ、特に柔軟性に富むクラブの創立には積極的に取り組みましょう。バーチャル形式やハイブリッド形式の例会を導入しているクラブをとて心強く思います。また、衛星クラブや特定分野で活動するクラブもロータリーの成長に大きく貢献することでしよう。

ロータリーが今まで以上に大きくなれば、今まで以上にたくさんのことができるようになります。各重点分野での活動を通じて、女子のエンパワメントを進めていきましょう。女子を対象とした奨学金、学校トイレの設置、健康と衛生についての教育など、できることはいくらでもあります。環境分野のプロジェクトも、世界中で関心を集めています。そういった国内外のプロジェクトに参加して、人類とあらゆる生命のために、この世界をよりよい場所にしていきましょう。

皆さん一人一人がロータリーブランドの親善大使であり、ロータリアンが世界中で行っているあらゆる素晴らしい活動をロータリーの外部にも発信していく必要があります。ソーシャルメディアを活用して友人、同僚、親族に超我の奉仕のストーリーを伝えましょう。

最後になりましたが、今年度は、ロータリーの内外からボランティアを結集し、クラブの活動を地域社会に発信するロータリー奉仕デーを、全クラブが少なくとも1度は計画するよう期待します。こういった構想について、またみんなの人生を豊かにするため奉仕する他の方法について、詳しくは [rotary.org](http://rotary.org) をご覧ください。



President, Rotary International

## ガバナー メッセージ

2021-22年度 国際ロータリー第2640地区

ガバナー 豊岡 敬

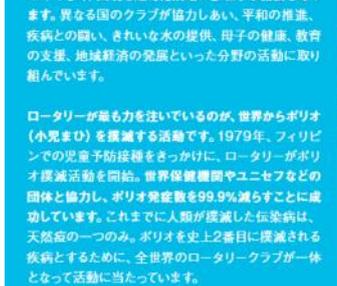


8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

シェカール・メータRI会長は、本年度のテーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」とされました。そして、このテーマを実践するには、「もっと行動する」が必要であり、原動力は「もっと成長する」です。

メータ会長は、17年間120万人で推移していた会員数を2022年7月までに130万人にすると宣言されました。インドは、驚異的なペースで会員数を伸ばしているのですが、先進国のアメリカと日本は会員数を減らしています。2640地区もかつては3,000名を超える会員数がありましたが、今日では1,700名まで減っています。まずは、早い段階で1,800名を回復させることを本年度の目標にしています。

ロータリーの中核的価値観の一つに多様性があり、多様なバックグラウンドを持つ会員、多様な形のロータリークラブが推奨されています。衛星クラブやパスポートクラブの設立といったアイデアが出てきて、東京では青少年交換で海外経験をしたROTEXの会員を中心に設立された衛星クラブも設立した衛星クラブが誕生しています。2640地区においても多様な会員が集える新しい形のロータリークラブが誕生することを期待しています。

<p><b>ロータリーのグローバルインパクト</b></p>			
	<p><b>地域密着の活動</b> 地域に根づいて活動するロータリークラブは、地元の実情を見極め、課題に取り組んでいます。人と人とのネットワークこそがロータリーの強みです。</p>	<p><b>多角的なアプローチ</b> ロータリーは100年以上にわたり、さまざまな職業やスキルをもつ人たちがアイデアを寄せ合い、多くの問題に取り組んできました。国や自治体の手の届かないところで、民間ならではの視点と方法で地域支援に力を注いでいます。</p>	
<p>世界中にクラブがあるロータリーでは、地元での活動だけでなく、国境を越えた活動に参加する機会もあります。異なる国のクラブが協力しあい、平和の推進、疾病との闘い、きれいな水の提供、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野の活動に取り組んでいます。</p> <p>ロータリーが最も力を注いでいるのが、世界からポリオ（小児まひ）を撲滅する活動です。1979年、フィリピンでの児童予防接種をきっかけに、ロータリーがポリオ撲滅活動を開始。世界保健機関やユニセフなどの団体と協力し、ポリオ発症数を99.9%減らすことに成功しています。これまでに人類が撲滅した伝染病は、天然痘の一つのみ。ポリオを史上2番目に撲滅される疾病とするために、全世界のロータリークラブが一体となって活動に当たっています。</p>	<p><b>ロータリーはここが違う</b></p>		<p><b>より良い地域づくりはクラブから</b></p>
	<p><b>倫理を大切に</b> 仕事とボランティアの両方でリーダーシップを発揮しているロータリー会員は、市民としての責任感をもって街づくりや教育支援、社会問題に取り組んでいます。倫理を重んじるロータリーは、他団体からも大きく信頼されています。</p>		<p>より良い地域社会と世界を実現したいと願う人たちが集まるロータリークラブ。ミーティングやボランティア活動を通じて交流しながら、より良い地域づくりに貢献しています。</p> <p>また、クラブでのゲスト講演、セミナー、国際交流など、ロータリーには「学び」の機会があふれています。ロータリーで世界を広げ、新しい自分を発見しましょう。</p>

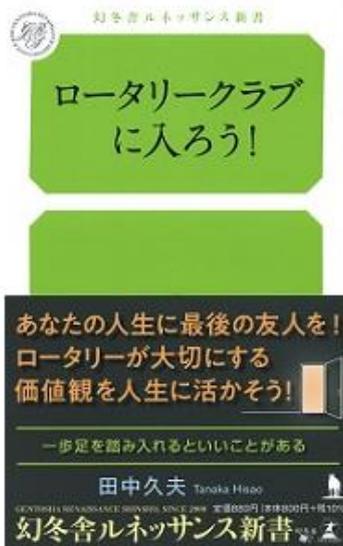
## 会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

地区会員増強・維持 女性活躍・推進委員長 山下 茂男

今や会員増強は、ロータリークラブにとって永遠のテーマとなっています。私から本年度の活動計画として、①会員増強の目標人数を決める ②退会防止に努める ③自クラブの現状お把握 ④会員増強への各クラブ会長の強いリーダーシップを要請 ⑤新規入会者へ入会メリット等を伝える と5項目をお上げさせて頂きました。

2021年7月25日の地区クラブ増強委員長会議で基調講演です。

国際ロータリー第1地区ロータリーコーディネーター補佐 第2840地区パストガバナー 田中 久夫 氏のご講演を拝聴して、深く感銘を受けました。田中久夫講師は自クラブ会長年度に於いて、自身が陣頭指揮を取られ51人もの新規入会者の獲得に成功されました。その成功に至るプロセス、ノウハウを惜しみなく丁寧にお話頂きました。本年度は皆様に各クラブに於きまして、田中講師の実践された増強活動を実践して頂きたく今回の基調講演の資料(ガバナー事務所へ請求ください) 講師田中久夫さまの著書「ロータリークラブに入ろう」を各クラブに一冊配布させて頂きます。この著書の中に会員増強の為のクラブ分析、課題、実践内容が網羅されています。



以下講演の内容のタイトルを抜粋します。

①会員増強はクラブの将来を左右する ②新会員は何をロータリーに期待しているか? ③2840地区新会員セミナーアンケートの結果から ④会員増強アンケートから ⑤全国のクラブを回って気づいた問題点、1・会長、幹事がやる気が無い、2・シニア会員自ら自覚すべき事を正しく認識していない。3・若手、女性を入れられない ⑥・毎月の夜間会員増強会議の実地 ⑦クラブによる推薦者の抜粋から重複した推薦者への入会アプローチ ⑧クラブ全会員に携行させた三種の神器 ⑨ロータリーを説明するための会員の勉強意識の向上 ⑩新規会員を迎える例会の工夫 ⑪最後に1・若者・2ばか者・3よそ者とタイトル有りました。この内容の解読も上記資料から導いてください。タイトルを見るだけでも関心をもって頂けると思っています。是非各クラブにて、すぐに会員増強の実施に邁進して頂きたく、心よりよろしくお祈いします。

新企画としまして、「メイクアップ推進手帳」を後日、各クラブへお送りします。

この推進手帳は、御朱印帳又はスタンプラリーからヒントを得て、各クラブへのメイクアップの推進、出席率の向上、地区の各会員の交流の機会の推進等、他クラブへのメイクアップで色々な刺激と勉強になればと思い企画しました。また、50クラブのメイクアップ毎にガバナー表彰も考えてます。合わせて会員増強活動へのご協力よろしくお祈いします。

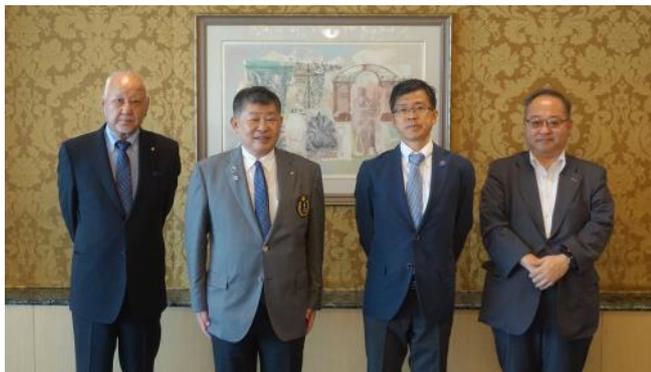
【ガバナー公式訪問】

堺南ロータリークラブ

2021年7月26日(月)

会長 中田 眞豪

幹事 中田 紘武



松原ロータリークラブ

2021年7月27日(火)

会長 脇田 隆博

幹事 岡正 樹



堺泉ヶ丘ロータリークラブ

2021年7月27日(火)

会長 比楽 卓郎

幹事 阪井 祥博



和泉ロータリークラブ

2021年7月28日(水)

会長 富岡 裕史

幹事 濱田 雅嘉



【ガバナー公式訪問】

有田2000ロータリークラブ

2021年7月28日(水)

会長 梅本 茂喜

幹事 中屋 喜臣



羽衣ロータリークラブ

2021年7月29日(木)

会長 谷野 一彦

幹事 納谷 政志



泉大津ロータリークラブ

2021年7月30日(金)

会長 植村 勢彦

幹事 渡辺 万寿



和歌山中ロータリークラブ

2021年7月30日(金)

会長 山下 邦彦

幹事 大平 洋和



## 【RIニュース】

### 「多様性、公平さ、インクルージョン(包摂)の声明」を RI理事会が検討・強化

RI理事会は6月の会合にて、DEIタスクフォースからの指針に基づき、ロータリーが採択した2019年のDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)声明の見直しと強化を行い、ロータリーが組織として多様性、公平さ、インクルージョン(包摂)の原則を尊重し、実践するためのさらなるステップを取りました。その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョン(包摂)へのコミットメント」が下記の通り採択されました。

「ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされるとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。」

理事会は、2020年に「多様性・公平さ・インクルージョン(DEI)タスクフォース」を招集し、ロータリーにおけるDEIの現状を調査して達成可能・測定可能な意義ある結果をもたらす包括的な行動計画を作成する任務を与えました。この計画は現在作成中であり、2021年10月に理事会に提示されます。

また、理事会は以下の点にも同意しました。

- 次期・現・元RI役員にDEI研修を提供する
- ロータリー行動規範を推進する
- 行動規範に対する違反を報告する手続きを設ける

上記の決定およびDEIに関する継続的な取り組みに関するこのほかの情報は、今後数週間以内にrotary.org/deiに掲載される予定です。

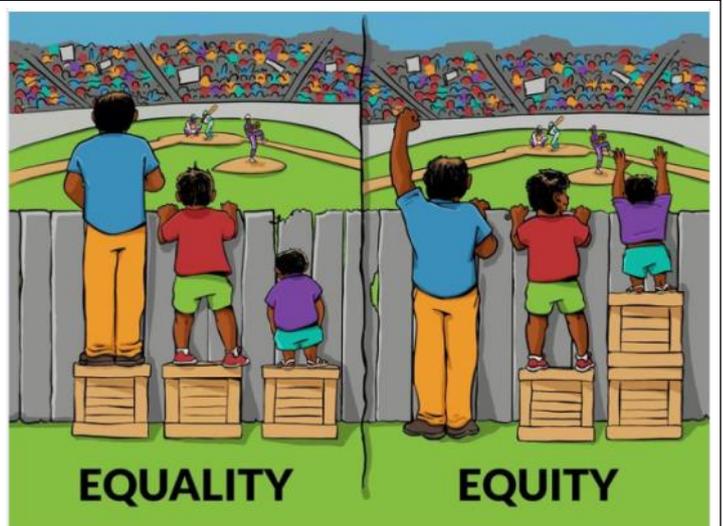
理事会はこの1年間、ロータリーでの体験をより公平で、開放的で、歓迎的なものとするために取り組んできたタスクフォースに感謝の意を表しています。タスクフォースによる取り組みは、ロータリーの長期的な成功にとって極めて重要となります。DEIタスクフォースによる取り組みは、理事会によって2023年6月まで延長されました。ロータリーのDEI声明に違反する言動を目にしたり、体験したりした方は、DEI.Inquiries@rotary.orgまでご連絡ください。

<https://my.rotary.org/ja/board-directors-strengthens-rotarys-diversity-equity-and-inclusion-statement>

## 平等(Equality)と公平(Equity)の違いについて考えたことがありますか？

このイラストがわかりやすく説明しています。

(出典: Interaction Institute for Social Change | Artist: Angus Maguire)



## メンタルヘルスの問題に立ち向かう

自殺者が増えているというニュースが先日ありましたが、世界保健機関によると、全世界で2億6400万人以上が #うつ病 に苦しんでおり、日本でもうつ病・抑うつ状態の人の数がコロナ禍の前と比べて倍増しています。このような人びとをどうサポートできるでしょうか？

保健分野の取り組みで大きなインパクトをもたらしてきたロータリーは、世界的にポリオを根絶間近に追いやってきただけでなく、クラブの活動を通じて疾病予防や母子の健康をサポートしています。

新型コロナウイルスが世界に蔓延する今、これまで見過ごされがちだったもう一つの保健分野に注目が集まっています。その分野とは、「メンタルヘルス」。多くの国や地域で、うつ病、不安神経症、自殺などは恥とされ、口にされることもありません。しかし、こうした問題への理解や支援が不足していることを認識した各地のロータリアンが、行動を起こしています。

世界保健機関によると、全世界で2億6,400万人以上がうつ病に苦しんでいます。

「1年前、メンタルヘルスに取り組むロータリー行動グループのメンバーは50名でした」。こう話すのは、同グループのリーダーで、プラッツバーグ・ロータリークラブ(米国ニューヨーク州)会員のボニー・ブラックさんです。「メンバーの数は、コロナ禍で3倍になりました。メンタルヘルスと健康への意識が高まっているからでしょう」

イダバン・イディシン・ロータリークラブ(ナイジェリア)会員であるフェリックス・キングスリー・オビアロさんは、同クラブがウェレスリー・ロータリークラブ(米国)とともに実施しているプロジェクト、「Wellness in a Box(箱の中の幸せ)」を地元で取りまとめています。「社会的な烙印を押されているメンタルヘルスの

分野は、これまでずっと無視されてきました」とオビアロさん。「ロータリークラブの取り組みにより、この烙印が徐々に弱まり、抵抗を抱く人が少なくなってきました」

世界保健機関(WHO)によると、全世界で2億6,400万人以上がうつ病に苦しんでいます。メンタルヘルスの疾患の多くが比較的lowコストで治療できるにもかかわらず、多くの人が治療を受けていません。

社会的な烙印を押されるメンタルヘルスの分野は、これまでずっと多くの人から無視されてきました。ロータリークラブの取り組みによって、この烙印が徐々に弱まり、抵抗を抱く人が少なくなってきました。

### 難民と移民への無料のメンタルヘルスサービス

2014年、ベルリンで医師として働いていたピア・シュカラビス-ケルフェルトさん(クラインマハノー・ロータリークラブ会員)は、紛争や残虐行為から逃れてドイツに流れ込んできた難民たちの姿を目にしました。何とか助けたいと考えて設立した非営利団体「Medizin Hilft(医療による支援)」は、ロータリー財団グローバル補助金と世界中のクラブからサポートを受けて、難民・移民に無料で医療を提供しています。スタッフのほぼ全員がボランティアです。

しかし、身体的疾患の治療のニーズに加え、患者の約半数が、うつ病、PTSD(心的外傷後ストレス障害)、依存症といった精神的な問題や疾患を抱えていることに、同団体の医師たちは気づきました。そこで2020年、難民・移民に無料のメンタルヘルスサービスを提供するために、モアヘッドシティリックアウト・ロータリークラブ(米国)からの協力を得て、もう1件のグローバル補助金を確保しました。

クラインマハノー・ロータリークラブの会員である心理学者、ウラ・ミヒェルス-フェアモイレンさんが中心となり、心理学者、精神科医、翻訳者、ソーシャルワーカーらが支援に乗り出しました。その支援を受けた一人、シリア難民のファトマさんは、看護師としてシリアで爆弾攻撃の負傷者たちの治療にあたっていたが、状況が危険となり祖国を逃れました。しかし、その後の過酷な旅によってトラウマが引き起こされたと、ミヒェルス-フェアモイレンさんは説明します。

ボートで地中海を渡っているとき、ファトマさんはほかの難民たちが溺れ死ぬのを目のあたりにしました。救援ボートにより救出され、一時は難民キャンプのテントで寝泊まりしましたが、そこに医者はおらず、食料も十分にありませんでした。この旅の間、何度か性的暴行の被害にもあいました。

メンタルヘルスの問題を無視すれば、社会が大きなつけを払うこととなります。病気の人がサポートを受けることは、人権なのです。



ナイジェリアでの「Wellness in a Box」の研修で指導するオビアロさん。

「ファトマさんはドイツに残留することを決め、ドイツ語を習うために学校に通うことになりましたが、今もカウンセリングを受けています。悪夢や不眠症に悩み、何にも集中できないという問題に苦しんでいます」とミヒェルス-フェアモイレンさん。「メンタルヘルスの問題を無視すれば、社会が大きなつげを担うことになります。病気の人がサポートを受けることは、人権なのです」

### SNSキャンペーンでメンタルヘルスの烙印を打ち破る

第1175地区(英国)では数年前、地区大会で行ったメンタルヘルスに関する講演がきっかけとなり、この問題に対する関心が高まりました。「とてもパワフルな講演でした。私たちは『メンタルヘルスのためにロータリアンとして何ができるか?』と考えました。行動を起こしたい一方で、私たちロータリアンはメンタルヘルスのエキスパートではありません。でも、何らかの方法で支援できると思いました」と、プラインプトン・ロータリークラブ会長のダレン・ハンズさんは話します。

そこで地区のロータリアンたちは「Don't Bottle It Up(封じ込めるのはやめよう)」と呼ばれるSNSキャンペーンを開始し、うつ病、不安神経症やそのほかの問題に苦しむ人たちに、助けを求めると呼びかけました。「メンタルヘルスの問題に苦しむ人の大半は、悩みを誰かに打ち明けるまで1年以上かかります」とハンズさんは説明します。「このキャンペーンを通じて、社会的烙印を打ち破ることができればと願っています」



2017年に開始されたこのキャンペーンでは、広告に地元のスポーツ選手や有名人を起用しました。また、英国では4人に一人が心の問題を抱えており、一人で苦しみを抱えこまないように呼びかけるメッセージを広告に含めました。

その2年後には、英国だけでなくアイルランドも加わって全国的な取り組みが開始され、キャンペーンのフェイスブックページとウェブサイトも立ち上げました。現在、28人の有名人と60人のロータリアンが、SNSでメッセージを広げています。

「キャンペーンの成果を知る直接的な手段はありません」とハンズさん。「しかし、たった一人でも、自殺を考えている人や、うつ病や不安神経症に苦しんでい

る人が広告を見て、誰かに悩みを打ち明けてくれたなら、それだけでキャンペーンは成功したと思います」

### 10代の若者を支えるコミュニティを築く

米国では、10代の若者による自殺やうつ病の問題が深刻化しています。米国疾病対策センター(CDC)によると、自殺は、15~19歳の死因として2番目に多く、新型コロナウイルスの世界的流行による子どもたちの孤立が浮き彫りになっています。

「Wellness in a Box」(箱の中の幸せ)は、2013年にウェルズリー・ロータリークラブ(米国マサチューセッツ州)のボブ・アンソニーさんが地元の高校で始めたメンタルヘルス啓発キャンペーンです。このプログラムは、ナイジェリア(20校)、インド(18校)、プエルトリコ(3校)でも採用されており、ナイジェリアでは、フェリックス・キングスリー・オビアロさんが所属するクラブがこのキャンペーンをサポートしています。

「Wellness in a Box」では、動画、ワークショップ、グループディスカッションを通じて、生徒、親、教師たちに、うつ病や自殺に関する情報、その対処方法、誰かに援助を求める方法といった情報を提供します。また、生徒の代表者たちが、うつ病予防に焦点を当てたカリキュラムの実施方法を学びます。メンタルヘルスの問題への啓発を通じて、社会的な烙印を減らし、若者や大人たちから成るネットワークを築くことで、支援を必要とする人を見つけ、専門家を紹介できるようにすることを目指しています。

ナイジェリアでは、メンタルヘルスの問題は特に不名誉なこととされ、公の場で口にされることはめったにありません。「治療は可能だということを、人びとに知ってもらえた」とボブ・アンソニーさんは話します。インドでは、カウンセラーのいない学校で、生徒たちが援助を求めることのできる地元病院の連絡先を公表しているほか、学校カウンセリングの研修を教師が受けるための費用を負担しています。「10代の若者が主体ですが、親を対象とした啓発ワークショップもあり、全学校に導入を奨励しています」とアンソニーさん。「理想は、すべての人がプログラムの恩恵を受けられるようにすることです」

オビアロさんはこう語ります。「ロータリアンによる活動は、正当で権威あるものとみなされます。だからこそ、ロータリアンは、メンタルヘルスの問題に対する人びとの偏見を取り除くことができるのです」

全世界で2億6,400万人以上がうつ病に苦しんでいます。精神疾患には効果的な治療法があるにもかかわらず、低・中所得国の76%~85%の人がこれらの疾患への治療を受けていません。全世界の15~29歳の死因として2番目に多いのは「自殺」です。うつ病と不安神経症が世界経済に及ぼすコストは、年間1兆ドルにのぼります。自殺による死亡数は、年に80万件にのぼります。メンタルヘルスの問題は、特に人道的危機の影響を受けた人びとに共通して見られます。(出典:WHO)

## 【地区活動報告】

### クラブ会長・幹事合同会議

地区は、7月18日(日)、午後1時から、和歌山市のホテル グランヴィアで「クラブ会長・幹事合同会議」を開きました。

冒頭、豊岡ガバナーは「コロナ禍ではありますが、新しい年度が始まり最初の会議となります。クラブの会長、幹事の皆さんにおかれましては、引き続き、大変な時期ですが、協力して困難を乗り越えてください。ロータリーにつきましては、今年度の地区スローガンは、“広げようロータリーの光を”です。ロータリアンは職業を通じ、社会奉仕を通じ、青少年の育成を通じて社会に光を当て、その光の輪を広げ、志を同じくする仲間を増やしていくことが重要です。また、今年度は少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントの開催をお願いします。このほか、減少傾向にある会員増強について、特に力を入れてください」とあいさつしました。



この後、My Rotaryの登録と活用について 寺下 IT・ガバナー月信委員長、ロータリー財団寄付について 中野 ロータリー財団委員長、米山記念奨学会の寄付について、木村 米山寄付増進小委員長から、それぞれ説明がありました。このほか、休憩をはさんで、岡本 研修リーダーから「ロータリー未来形成(SRF)について」の現況報告があり、最後に藤井 直前ガバナーから「皆さんの今後の活躍を期待します」と総評がありました。



## クラブ会員増強委員長会議

2021-2022年度のクラブ会員増強委員長会議を7月25日(日)、午後1時から、和歌山市のホテル グランヴィアで開催しました。地区の66クラブ中、参加クラブ50クラブの参加で、新型コロナウイルスの広がりの中、感染予防の為、手消毒、3人掛けテーブルを一人使用・ソーシャルディスタンスと万全の体制をもって行いました。

初めに、岡本 浩 副ガバナー挨拶、現状報告があり、続いて、「会員増強について」 国際ロータリー第1地区ロータリーコーディネーター補佐の田中 久夫 氏から基調講演がありました。



田中 久夫 氏は高崎RCに所属され、2014-15年にクラブの会長に就かれた当時、会員数を64人から115人に増しました。会員増強するにあたっての考え方について説明されました。また、2017-2018年に地区ガバナーにも就かれ、入会3年目までの方に、1入会の動機、2入会前に抱いていたRCのイメージ、3入会後の感じたRCの印象、4今のRCで満足していること、5不満の思っていること、6今のRCはどうすれば良くなるかなどのアンケートを取り、新入会員の標準的な考え方を分析し、それに見合った勧誘方法を考えられました。さらに、多くのクラブの抱える共通の問題点も分析され、1シニア会員自らが自覚すべきことを正しく認識していないこと、2新会員に対してのフォロー不足、3その年の会長・幹事のやる気がない、4若手や女性を入会させられないなどでありました。その辺りを踏まえ、毎月若手メンバー5~6人で「夜間・会員増強会議」を開き、候補書を選択し、すぐに電話攻勢をかける。脈がありそうであれば、翌日に訪問する。お父さん世代の家族に入会を勧める。クラブの全会員に「入会申込書」「自クラブの簡単なプロフィール」「ロータリーを説明できる簡単な印刷物」これらを3種の神器としRCの楽しさ、有益性をアピールしようとされました。勧誘された方からの質問としては、1RCの目的は？2RCの最も大切にしている主義・志操は？3RCに入って何かいいことがある？4他の奉仕団体との違いは？等を想定し、答えられるような知識を全会員が持つことの重要性を説きました。

この後、藤井 直前ガバナーから「女性会員増強の為に」、中野 パストガバナーから「紙芝居・船長ハグルマ君」、山下 会員増強委員長、中 同委員から「新企画・メイクアップ推進手帳の活用について」について説明がありました。



今回のクラブ会員増強委員長会議は、当日の豊岡ガバナー体調不良による欠席の中、急遽岡本副ガバナーによる会議挨拶から始まりました。会議の進行には何も問題なく進行されて頂き岡本パストガバナーありがとうございました。また、基調講演 「会員増強について」 国際ロータリー第1地区ロータリーコーディネーター補佐の田中 久夫 様からは所属クラブ会長時代に1年間で新規会員増強51人と言う実績をお持ちで、実績と行動力、考え方、実地方法等大変為になるお話を頂きました。さらに、藤井秀香パストガバナーよりは地区の現状と会員数の推移と女性会員数の推移、増強へのお考えをお話頂き、パストガバナーの中野 均様からは、「紙芝居・船長ハグルマ君」のDVDを上映いただきました。また、中委員からは、新企画としまして、メイクアップ推進手帳の活用について説明があり、地区会員の活性の一つとなればと説明がありました。

最後に紙面をお借りして、今回の研修会に当たり準備、お手伝い頂いた、代表幹事、地区ガバナー補佐、地区幹事等役員の方々、事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

会員増強、維持・女性活躍、推進委員長 山下 茂男

## 米山記念奨学生 卓話研修

米山学友小委員長 新本 憲一

米山記念奨学委員会は、委員様協力のもと7月25日・31日・8月2日・7日と4班に分かれて少人数にての卓話研修を行っています。9月には予行演習の卓話発表会も予定しています。

例年では全奨学生18名が集まり、各自の卓話を持ちよりお互いの発表を刺激に推敲を重ねるのですが、コロナ禍により委員の指導と学友の協力による修正を重ねています。

奨学生にとっても自身の卓話を作成することにより故郷を調べ、自身の過去と将来を考えるよい機会となっています。また、ロータリアンの前での発表することによりプレゼン能力向上にも役立っているようです。



10月の米山月間を待たず、9月より卓話派遣のご依頼を受け付けますので、米山事業への理解促進・寄付増進、学生の経験のため多数のご依頼をいただきたくお願い申し上げます。

## 【クラブ活動報告】

### 創立60周年記念「南紀白浜レトロ写真集」

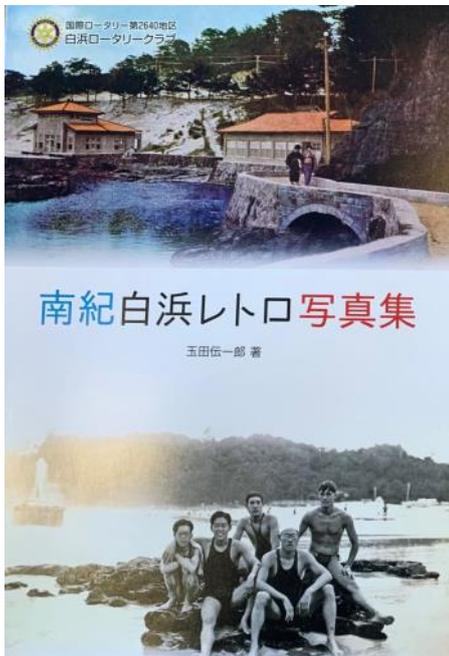
白浜ロータリークラブ

白浜ロータリークラブは、創立60周年を記念して「南紀白浜レトロ写真集」(A4判、145ページ)を制作しました。同クラブは昭和36年に創立。今年、創立60年を迎えた記念事業として、白浜の歴史を振り返る写真集で、明治以降の白浜温泉街の足跡を紹介しています。

制作にあたっては、田辺市在住のアニメーション作家で同町文化財保護審議会委員の玉田伝一郎さんに協力を依頼し、関係者から写真の協力を得て編集。白良浜や千畳敷、三段壁、丸公園周辺など各地の今昔を見比べることができます。

完成した写真集は、7部構成。1921(大正10)年に描かれた温泉郷開発の計画図や、29(昭和4)年6月の昭和天皇行幸時の写真、戦後の高度成長期に現在の町役場前と平草原を結んだロープウエーの写真のほか、旧日本軍の療養所があった歴史などを掲載し、時代ごとの温泉街の歩みが分かるようになっています。

クラブでは「写真集を見ることで温泉街の歴史を知り、今後の白浜を考えるきっかけになれば」と500部を発刊し、町や町教育委員会に寄贈した。



## 和歌山城ホール(新市民会館)の前へ「ホルトノキ」贈呈

### 和歌山東南ロータリークラブ

和歌山東南ロータリークラブは2021年2月、設立50周年を迎えました。コロナ禍にあって、記念式典等は先送りとなりましたが、この歴史を刻む事業のひとつとして、開館を目前にした和歌山城ホール(新市民会館)の前に植樹の贈呈を行いました。

ホルトノキは平賀源内の逸話が残る紀州ゆかりの木です。市民や観光客になじんでいただけるものと期待しています。

6月28日、尾花正啓市長らが出席し、除幕式を行いました。



## 新会員の紹介

	クラブ名	堺東ロータリークラブ		クラブ名	和歌山西ロータリークラブ
	氏名	たけやま おさみ 竹山 修身		氏名	しまづ けいじ 島津 京示
	職業分類	不動産賃貸業		職業分類	建築設計
	生年月日	1950年5月30日		生年月日	1960年8月25日
	入会年月日	2021年6月22日		入会年月日	2021年6月2日
	クラブ名	和歌山東ロータリークラブ		クラブ名	和歌山東ロータリークラブ
	氏名	かどの ひろのり 角野 寛典		氏名	ますおか かずき 栢岡 一樹
	職業分類	総合教育業		職業分類	消防設備業
	生年月日	1965年10月26日		生年月日	1976年5月21日
	入会年月日	2021年6月3日		入会年月日	2021年6月3日
	クラブ名	和歌山東ロータリークラブ		クラブ名	和泉南ロータリークラブ
	氏名	やすえ よしひこ 安江 義彦		氏名	すずき しおり 鈴木 志織
	職業分類	保険業		職業分類	社会保険労務士
	生年月日	1969年2月21日		生年月日	1984年2月24日
	入会年月日	2021年6月3日		入会年月日	2021年6月3日
	クラブ名	和泉南ロータリークラブ		クラブ名	和泉南ロータリークラブ
	氏名	かねむら さとし 金村 哲志		氏名	たどころ さだのり 田所 貞則
	職業分類	水道器具製造販売		職業分類	幼稚園
	生年月日	1984年2月1日		生年月日	1977年1月24日
	入会年月日	2021年6月24日		入会年月日	2021年6月24日

ロータリーへようこそ！

多様な会員が  
集まるクラブに 

## 訃言 幸反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

### 高石ロータリークラブ



いけお へいじ  
池尾 平治 様

2021年6月23日 逝去

在籍期間 20年9ヶ月  
職業分類 老人デイサービス  
表彰 ポールハリスフェロー+2  
米山功労者マルチプル3回

### 和歌山ロータリークラブ



なかたに てるや  
中谷 晃也 様

2021年6月9日 逝去

在籍期間 16年  
職業分類 機械設備工事  
表彰 マルチプルポールハリスフェロー (2)  
第2回米山功労者 (マルチプル)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

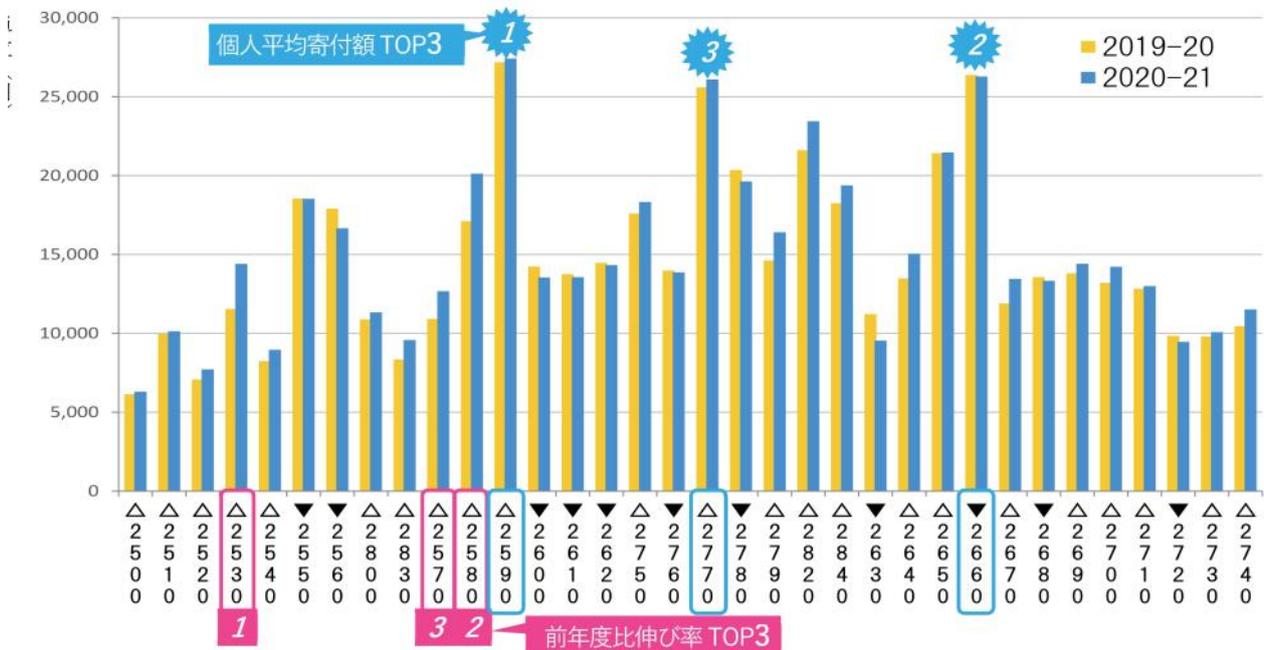
# ハイライトよねやま

Vol.256

2021年7月13日  
発行

## 1. 2020-21 年度 寄付金結果

2020-21 年度の寄付金は約 13 億 3,600 万円でした。新型コロナウイルスの影響から寄付状況が危ぶまれましたが、最終的には前年度比 0.04% 増（普通寄付金：1.4% 減、特別寄付金：0.7% 増）と約 50 万円の増額で、ほぼ 2019 年度並みの寄付結果となりました。社会的、経済的にまだ落ち着きを取り戻せていない状況下、多くのロータリアンの方々からご寄付をいただいたことにより、2020 年度予算額 13 億 3 千万円を達成することができました。心より御礼申し上げます。今年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



個人平均寄付額 TOP 3 【全国平均：15,516 円】

- ① 第 2590 地区：27421 円    ② 第 2660 地区：26279 円    ③ 第 2770 地区：26097 円

前年度比伸び率 TOP 3

- ① 第 2530 地区：124.6%    ② 第 2580 地区：117.5%    ③ 第 2570 地区：116.0%

## 2. 学友会セミナー開催報告

6 月 26 日、国内外の米山学友会代表者が参加する学友会セミナーを Zoom で開催しました。

当日は、齋藤直美理事長から学友会へのメッセージ、事務局から個人情報保護や提出書類に関する説明のあと、韓国（キム デイル幹事長）、マレーシア（黄 麗容会長）、第 2620 地区（上野佳子会長）、第 2660 地区（ミン スラ会長）が、それぞれ学友会の特長となる活動紹介を行いました。続いて、4 グループに分かれて「コロナ禍における学友会活動の工夫」をテー

マとするディスカッションを行いました。その後、全体セミナーに戻って質疑応答、第 3 回世界大会の告知（朴 貞子実行委員長）、駒井英基常務理事/学友・学友会担当理事の挨拶で閉会となりました。水野 功副理事長、井原 實常務理事（いずれも選考・学務担当理事）にもご参加いただき、オンラインではありましたが、3 年半ぶりに同セミナーを開催することで、他学友会の活動や課題を全員で共有する有意義な会となりました。

### 3. 米山初の紺綬褒章受章者が誕生！

国際ロータリー第 2630 地区（岐阜県・三重県）上野 RC の丸山統正氏（写真右）が 5 月 29 日、紺綬褒章を受章しました。7 月 6 日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当会の水野 功副理事長から丸山氏へ褒状が贈られました。

丸山氏は昨年 6 月、長年にわたって収集してきた故平山郁夫氏の版画を売却した代金の一部を当会へご寄付いただきました。この多大なご支援により、当会から国へ紺綬褒章の授与対象として申請し、閣議決定を経て、このたび紺綬褒章授与が決定しました。

紺綬褒章は公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人や団体に対し、天皇陛下から授与される褒章です。当会では 2018 年 9 月に

紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、初めての受章者が誕生したこととなります。心よりお祝い申し上げます。

【丸山氏からのコメント】このような大きな褒章をいただき、身に余る光栄です。私は若い頃から平山郁夫さんの版画を長年収集しておりました。戦争を憎み、人類は一つであるとの信念から、平和への祈りを込めて多くの作品を描いた彼の思いに深く共感していました。また、私自身がこのクラブで 4 度も米山委員長



の担当となり、米山奨学事業の目的と平山さんの理念に相通ずるものを感じて、今回寄付に至った次第です。すべての皆さまに感謝申し上げます。

### 4. レンタルします！ — ロゴ旗 & タスキ —



今年度からロゴ旗および学友・奨学生用タスキを新たに作りました。ご希望の方に無料で貸し出したします（返送料のみご負担ください）。ロゴ旗は大小 2 種ありますので、地区大会の壇上や例会会場などでご掲揚ください。タスキは、学友や奨学生が集まるイベントや奉仕活動の際にぜひご

活用ください。いずれも数に限りがあり、使用後は速やかにご返却ください。お申込みは①送付先②ご要望の品名（タスキの場合は希望本数）③使用日 を記載のうえ、当会広報担当 [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp) まで

### 5. 50 周年記念誌頒布終了のお知らせ

財団設立 50 周年を記念して制作した『ロータリー米山記念奨学会 50 年のあゆみ』は、おかげさまで 6 月末をもって頒布を終了しまし

た。ご購入いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。残部につきましては今後、研修資料として適宜活用する予定です。

### 会員増強・新クラブ結成推進月間

コロナウイルスの感染が、ウイルスの変異が止まらず収束を見せない状況の中、新年度がスタートしました。一昨年12月から1年半が経過しましたが、昨年度のコアナーはこの新常態に対応すべく果敢に新しい地区運営に尽力され、文字通りホルガー・クナーク前RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉をひらく」を実践してこられました。3大研修やクラブ公式訪問もリアル、オンライン、ハイブリッドなど工夫を凝らして開催されました。地区大会も中止の判断をされた地区もあり、リアルで開催できた地区は限定されました。また、楽しみにしていた台北での国際大会も2年連続でバーチャルでの開催を余儀なくされ、地区内会員が一堂に会し、日ごろの活動を振り返り、アイデアを交換し、友情を確かめ合い、親睦を深めることも思うようにできませんでした。新しいアイデアのもと様々な奉仕活動やクラブ・地区運営などが実践され、今年度につながるものと期待しています。クラブにおいても同様でしたが、いち早くこの新常態に合わせたクラブ運営に切り替え、従前より活発に活動をされているクラブも数多くあります。オンライン例会ならではの利点を活かし、卓話講師の枠を上げたり、ネットワークを活かしてクラブ、地区を超えた奉仕活動を実践されているクラブも数多く見られます。2680地区大会はバーチャルでしたが、サプライズ演出で花火1000発を打ち上げられ、閉塞感の強い地域社会に一服の清涼感をもたらした、NHK関西にて取り上げられ、公共イメージの向上に大きな役割を果たしました。また、2750地区ではポリオ撲滅JAZZチャリティコンサートを開催し、大きな寄付を集めることに成功し、この取り組みもNHK関東で取り上げられました。さらに2510地区大会はバーチャルでしたが、工夫を凝らし、YouTubeにて地区大会の裏番組ともいえるべき、解説とゲストによる対談などを放映して地区内会員に対してロータリーの知識や楽しみ方などを伝えることが出来ました。困難な状況のなか、このように積極的にアイデアを出し合い前に進んでいく姿勢こそ、今最も必要とされていると思います。それには、地区においてはガバナー、クラブにおいては会長の強い思いとリーダーシップが不可欠です。地区もクラブもこの新常態に合わせ、ビジョンを持ち行動することが求められています。夢のある者、目標があり、目標のある者、行動があるという言葉がありますが、ロータリーでも同じことが言えると考えます。クラブにおいては、会長のリーダーシップのもとクラブ会員全員参加で行動計画を作成し、実践・行動していただきたいと考えます。改めて言うまでもなく、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。活発な活動を通じて良い仲間を迎え入れましょう！

第2地域 ロータリーコーディネーター 水野 功（東京飛火野RC）

### 7つ目の重点分野「環境」

みなさんは、ロータリーの6つの重点分野に7つ目として「環境」が加えられたことをご存知でしょうか。今年度からこの分野のプロジェクトもロータリー財団のグローバル補助金申請の対象となっています。

6月号の『ロータリーの友』によると、このことが発表されたのは2020年6月でしたが、マーク・マローニー元RI会長は当時を振り返って、「ロータリアンやローターアクター、一般の人々を対象とした調査によると、「環境」が関心事のトップ5に入っていて、特にロータリーの候補者といえる一般の人々には、「環境」は第一に取り組むべきこととなっていました。」と述べていらっしゃいます。

「ロータリーのビジョン声明」を達成するための「行動計画」には四つの優先事項がありますが、そのうちの一つは ●「参加者の積極的なかわりを促す」となっています。会員の関心が高い「環境」が重点分野に入ること、会員の参加意欲も沸いてくるわけで、「行動計画」の目指すところとも一致することになります。クラブが「環境」にかかわる奉仕プロジェクトを実施することで参加者が増えれば、クラブの活性化につながります。みなさんのクラブでも、「環境」にかかわる新しい奉仕プロジェクトをスタートさせることを視野に入れてみてはいかがでしょうか。日本がプロジェクト実施国となって行えるグローバル補助金プロジェクト実施の可能性も、他の重点分野に比べて高いように思います。

重点分野に「環境」が加わることは、ロータリーの公共イメージ向上の上でも、「世界を変える行動人キャンペーン」の展開に大きなプラスとなります。ロータリーは何をしているのですか？という問いに、ポリオ根絶や紛争の解決、教育支援に加えて、「環境」にも取り組んでいることがわかれば、ロータリーをより身近に感じ、共感を持つ人が増えるだろうと思われまます。

ロータリアンは「他者を思いやる心」を持って行動しています。その「他者」とは、たまたま隣に居合わせた人、仕事で関わる人々、自分の身近な地域社会の人々、この地球上に同じ時代に生きるすべての人々だと思っています。しかし、地球の環境を考える時、そこには私たちの子供、孫の世代、さらには何世紀も先の未来の人々も含まれるのだと気づかされます。わたしたちが目指す持続可能なよい変化は、地球の未来に続く道となります。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 服部 陽子（東京広尾RC）

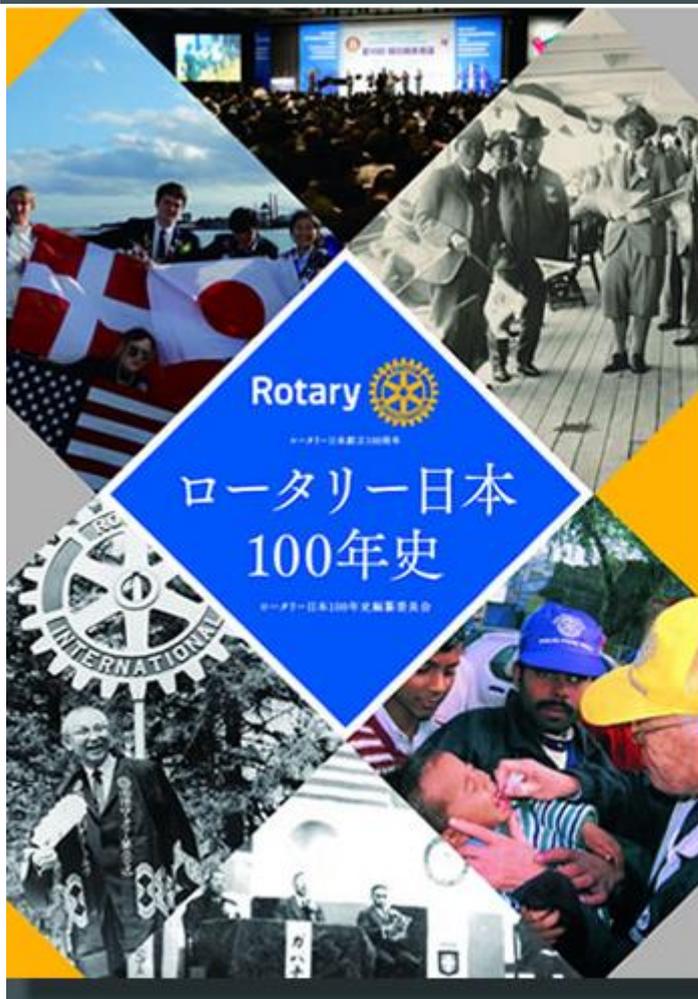
日本のロータリー100年の軌跡をあなたの本棚に

# 『ロータリー日本100年史』

ロータリー日本100年史編纂委員会 編/6,600円(税込・送料別)/A4判

## 内容

- ・本誌「ロータリー日本100年の歩み」「ロータリー日本思想の潮流」
- ・別冊1「100人のロータリアン」「ロータリーの本棚」
- ・別冊2「年表・資料」
- ・上記の内容を収録したDVD



絶賛  
発売中



ロータリー日本100年史編纂委員会 編  
価格:6,600円(税込)送料別  
大きさ:A4判

ご注文はクラブ単位でおまとめのうえ、以下の注文フォームから。  
<https://rotary-no-tomo.jp/order/common.php?menu=yoyaku>

第2640地区 会員数報告(2021年6月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	20.7.1	内女性	21.6月末	内女性	6月	内女性	累計	6月	内女性	累計		20.7.1	内女性	21.6月末	内女性	6月	内女性	累計	6月	内女性	累計
串本	9	1	9	1			0			0	松原	15	0	15	0			0			0
那智勝浦	12	0	12	0			0			0	松原中	31	4	26	4			0	4		5
新宮	45	2	46	2			2	1		1	美原	5	1	5	1			0			0
白浜	12	1	10	1			0	1		2	大阪狭山	10	1	7	1			0	3		3
田辺	82	3	80	3			4	2		6	太子	18	1	17	1			1	1		2
田辺東	40	2	39	3			2			3	富田林	34	0	34	0			1			1
田辺はまゆう	28	4	27	4			4	3		5	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	0	9	0			4	2		3
有田	29	2	26	1			1	2	1	4	泉佐野	21	0	20	0			0	1		1
有田南	27	1	27	1			2			1	貝塚	16	3	16	3			1	1		1
有田2000	18	0	17	0			2			2	貝塚コスモス	12	3	12	3			1			0
御坊	41	4	42	3			2			1	関西国際空港	20	1	18	1			2			3
御坊東	14	0	15	0			1			0	岸和田	35	1	33	1			1	1		3
御坊南	19	6	15	6			0			4	岸和田東	44	8	40	6			1	1	1	5
海南	12	0	9	0			0			3	岸和田南	10	0	10	0			2	2		2
海南東	40	5	40	5			0			0	KUMATORI 向日葵	9	2	9	2			0			0
海南西	18	2	18	2			0			0	りんくう泉佐野	18	3	15	3			0	1		3
Rotary E-Club Sunrise of Japan	10	2	7	2			0	2		3	羽衣	16	2	17	1			2	1	1	1
和歌山	72	0	72	1			6	5		6	和泉	24	0	21	0			0	1		3
和歌山アゼリア	30	9	27	9			0	2		3	泉大津	40	4	43	3			5	1	1	2
和歌山東	42	0	45	0	3		4			1	和泉南	49	1	55	2	3	1	7	1		1
和歌山城南	41	1	39	1			4	2		5	大阪金剛	15	1	12	1			0			3
和歌山中	26	0	22	0			1	2		5	高石	29	2	25	2			0	3		4
和歌山北	32	1	30	1			2	2		4	高師浜	9	1	9	1			0			0
和歌山南	78	4	79	5			6	3		5	堺	49	7	40	4			5	3	1	14
和歌山東南	39	7	35	6			1	5	1	5	堺東	20	3	19	3	1		1			2
和歌山西	10	1	10	1	1		1			1	堺フラワー	4	0	0	0			0	4		5
橋本	47	0	45	0			0	2		2	堺泉ヶ丘	21	1	20	2			2	1		3
岩出	26	1	23	1			0	2		3	堺中	21	3	21	3			1			1
河内長野高野街道	16	2	17	3			2			1	堺北	29	1	31	1			4	2		2
粉河	16	1	17	1			1			0	堺おおいずみ	26	2	27	3			3			0
高野山	20	0	19	0			0			1	堺フェニックス	9	4	9	4			0			0
羽曳野	13	0	9	0			0	2		4	堺清陵	24	4	23	4			1	1		2
河内長野	17	4	18	4			1			0	堺南	9	0	9	0			0			0
河内長野東	20	1	20	1			1			1	計	1,701	131	1,633	128	8	1	95	73	6	157



クラブ数	2020年7月1日 会員数				2021年6月末 会員数				6月入会		6月退会		増減							
67	男性	1,570	女性	131	男性	1,505	女性	128	男性	7	女性	1	男性	67	女性	6	男性	-60	女性	-5
	0				1,633				8		73		-65							



## 8月の行事予定表

日付	変更	行 事	場 所
7日(土)		第2回ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
21日(土)		第1回危機管理委員会・青少年交換委員会合同会議	ガバナー事務所(ZOOM可)

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

<https://on.rotary.org/3ig7027>

メータRI会長は「Each One, Bring One」(みんなが一人を入会させよう)と呼びかけています。



「皆さん一人ひとりがロータリーの親善大使であり  
ロータリアンが世界中で行っているあらゆる素晴らしい  
活動をロータリーの外にも発信していく必要があります」

Rotary  国際ロータリー会長 シェカール・メータ

## ガバナー月信への寄稿お願い

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かせるため、情報収集に努めています。皆様の寄稿、ご協力をお願いします。具体的には、記念事業や特別例会、クラブ奉仕活動、親睦活動(家族会、親睦旅行、同好会等)や会員増強等、職業奉仕(講演会、講習会、視察等)、社会奉仕(清掃活動、福祉・教育支援事業等)、国際奉仕(友好クラブとの交流、各社会奉仕プロジェクト)、青少年奉仕(青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ライラ等)、そのほか、ロータリー財団、米山記念奨学会等の活動などの案内、募集、報告等の寄稿をお願いします。また、ご提供いただける情報は、文書面、資料、写真をFAX、封書等又はメールでガバナー事務所へご送付ください。月信では、引き続き、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。ご協力、よろしく申し上げます。

### 国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331  
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室  
TEL (073) 426-2640  
FAX (073) 426-2660

e-mail: [toyooka@rid2640g.com](mailto:toyooka@rid2640g.com)

JR和歌山駅西口から徒歩7分

